

# 吹田市労連 いのち・健康・権利を守れ！

「非常勤職員だから」の安易な雇い止めNO！



雇い止めに対し闘う決意を述べる藤井雅子さん（2012年11月4日のパート・非常勤ヘルパー・派遣労働者のこと）



シックハウス裁判判決報告集会（12月26日）

## 図書館シックハウスの 労災認定を

健康に働けるように  
裁判闘争に  
何としても勝利を

吹田市労連は、労働者のいのちと健康、権利を守る取り組みを重要な課題として位置づけてきました。

今から11年前に、図書館改修工事をきっかけに全員が発症した化学物質過敏症の労災・公務災害認定を求めるシックハウス裁判闘争は、昨年末に大阪地裁が請求棄却の不当判決を下しました。原告全員がただちに控訴し、高裁での逆転勝利に向けてたたかいの決意を固めています。

また、シックハウスより前からたたかいてきた腕腰痛症公務災害認定闘争は、いよいよ証人尋問を行い、近く結審、判決を迎えます。介護労働者

の労働条件改善につなげるため、何としても勝利をと力を入れています。

不当労働行為や雇い止め  
「泣き寝入り」はしない

前市政のもとですすめられてきた労使協定違反の学校教職員削減、誠実交渉義務違反に対し、不当労働行為の救済を求める現業評議会のたたかいも中央労働委員会での審理を終え、勝利命令をめぐっています。

さらに、維新市政のもとで急加速するアウトソーシングにより、20年以上にわたって雇用されてきた総合福祉会館生活介護事業の非常勤職員2人が「泣き寝入りはごめん」だどたたかいて決意しているところです。

いずれのたたかいかにも、働く仲間の支援を心よりお願いします。

# 公務員賃金削減がつくりだす 賃下げの「悪魔のサイクル」



国民生活切り捨てと  
公務の賃下げ迫る政府

安倍内閣は1月24日、臨時閣議で12年人事院勧告を来年度から実施することを決めました。民主党政権で決めた勧告見送りから一転して、実施する方針を新政権が決定したのです。

さらに、閣議決定では、「給与臨時特例法(賃下げ法)」による国家公務員への賃下げ措置を踏まえ、「各地方公共団体において速やかに国に準じて必要な措置を講ずるよう要請する」と、地方公務員・教職員に賃下げを迫っています。

一方で、2013年度政府予算は、生活保護の生活扶助を3年間で740億円も削減、地方公務員の賃金削減で地方交付税を4000億円削減。大型公共事業のばらまきと、原発推進、軍事費の拡大など財界とアメリカ優先になっています。

## 退職手当の大幅削減するな！ 統一闘争で各市が交渉

国の制度改悪を  
そのまま持ち込ませない

「国が制度を変えたから」「住民の理解が得られない…」各自治体当局は、400万円もの退職手当削減の申し入れをしておきながら、合理的な説明ができない状態。1月末から始まった、退職手当削減阻止の統一闘争は、労使合意原則や賃金労働条件の一方的改悪を許さないたたかいとして、府下の各組合が当局交渉に取り組んでいます。

国と地方の公務員の賃下げは、民間賃金にも影響して「賃下げの悪循環」を加速させます。また大阪では、橋下「維新の会」による公務員労働者の権利侵害が広がるうとしている中で、団結権を守り、国の制度改悪をそのまま地方自治体に持ち込ませない大阪自治労連・衛都連のたたかいが重要です。

## たたかいに勇気あたえる「うたごえ」響く

第12回大阪自治労連うたごえ祭典(1月13日) 大阪市労組に最優秀賞！



第12回大阪自治労連うたごえ祭典は、1月13日に東大阪ライティホールで開催され、9単組、250人が参加しました。出演者のほとんどが大阪市思想調査アンケート裁判原告として奮闘し、たたかいのなかから生まれた創作曲「スタンダップ」を歌った大阪市労組が最優秀賞に選ばれました。優秀賞に東大阪市職労、特別賞は藤井寺市職労が選ばれました。

今月のキーワード  
シックハウス症候群

建物内での室内空気汚染に由来する様々な健康障害を総称して、「シックハウス症候群」と呼びます。化学物質を含有・添加した新建材が多用され、そこから揮発する化学物質によって室内空気が汚染されています。壁紙、接着剤、合板、塗料などあらゆる建材が室内空気汚染の原因になっています。

今月のキーワード  
2012年版ジェンダー・ギャップ指数(GGI)

GGIは、経済、教育、健康、政治の4分野で14の指標を数値化し、0から1で示され、1は完全平等、0は完全不平等を意味します。日本は「総合」で101位ですが、「健康」の分野では「健康平均余命」が1位で、順位は34位です。日本国民は、男女とも健康で長寿だということです。